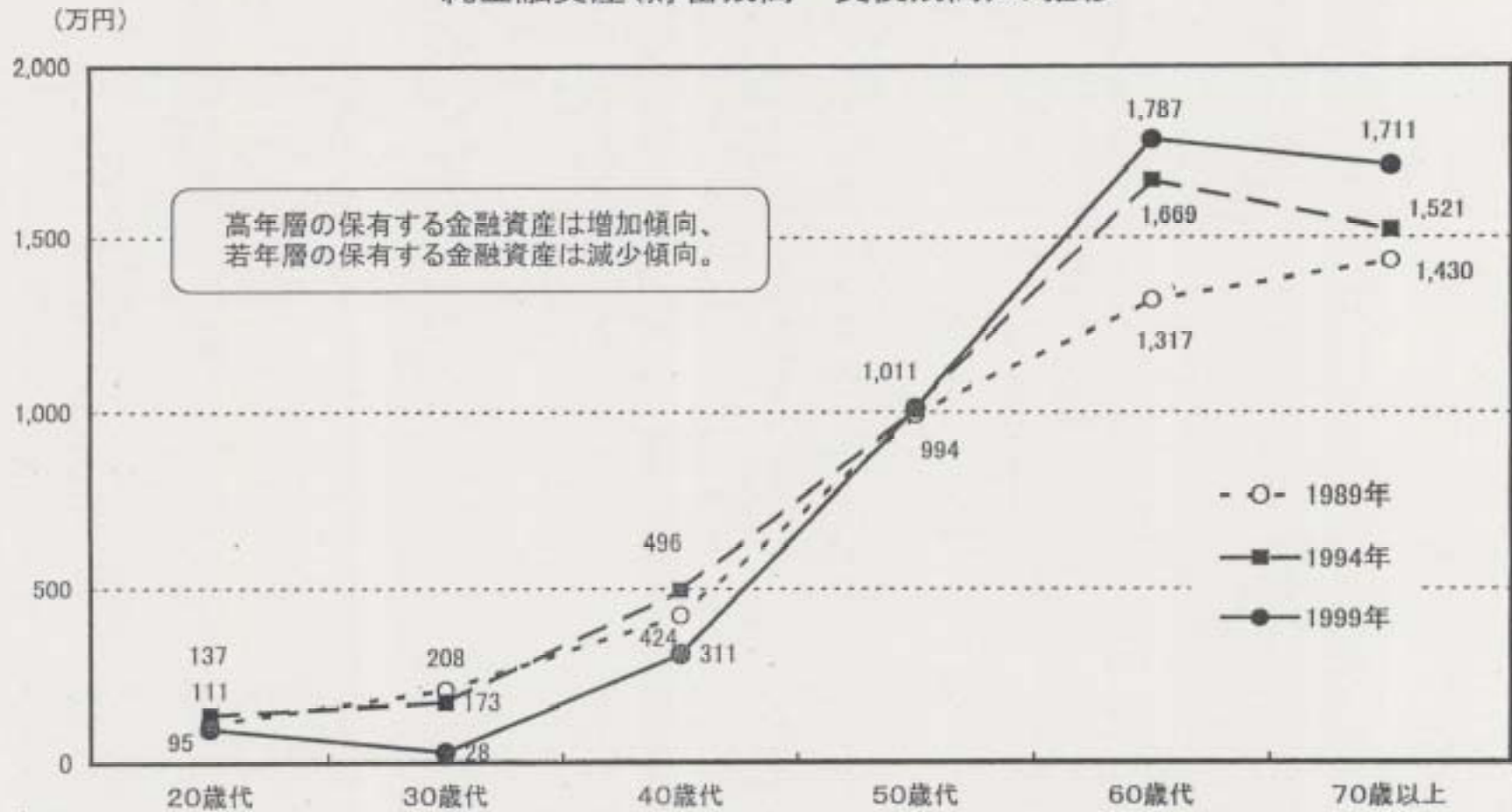
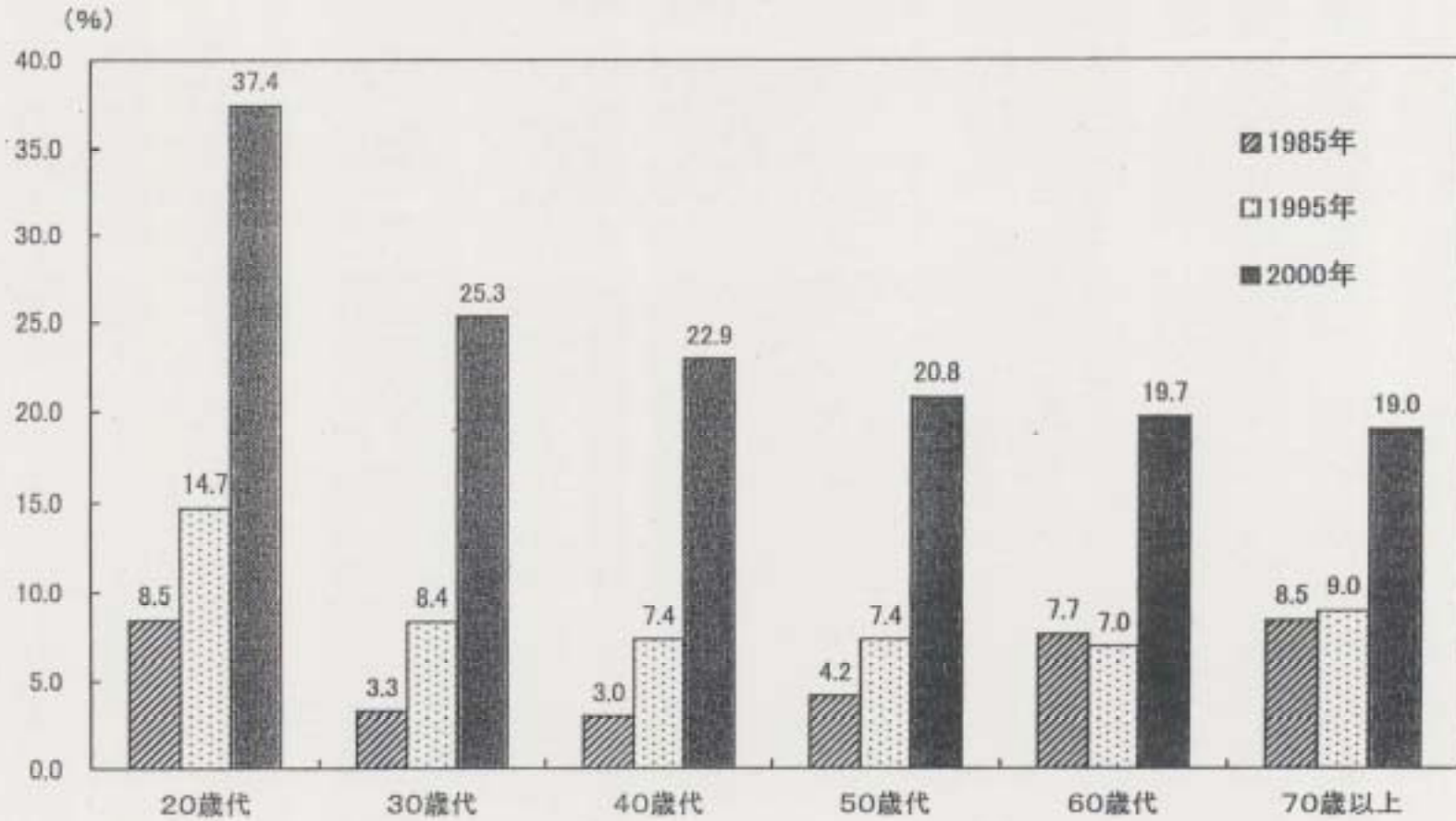


純金融資産(貯蓄残高-負債残高)の推移



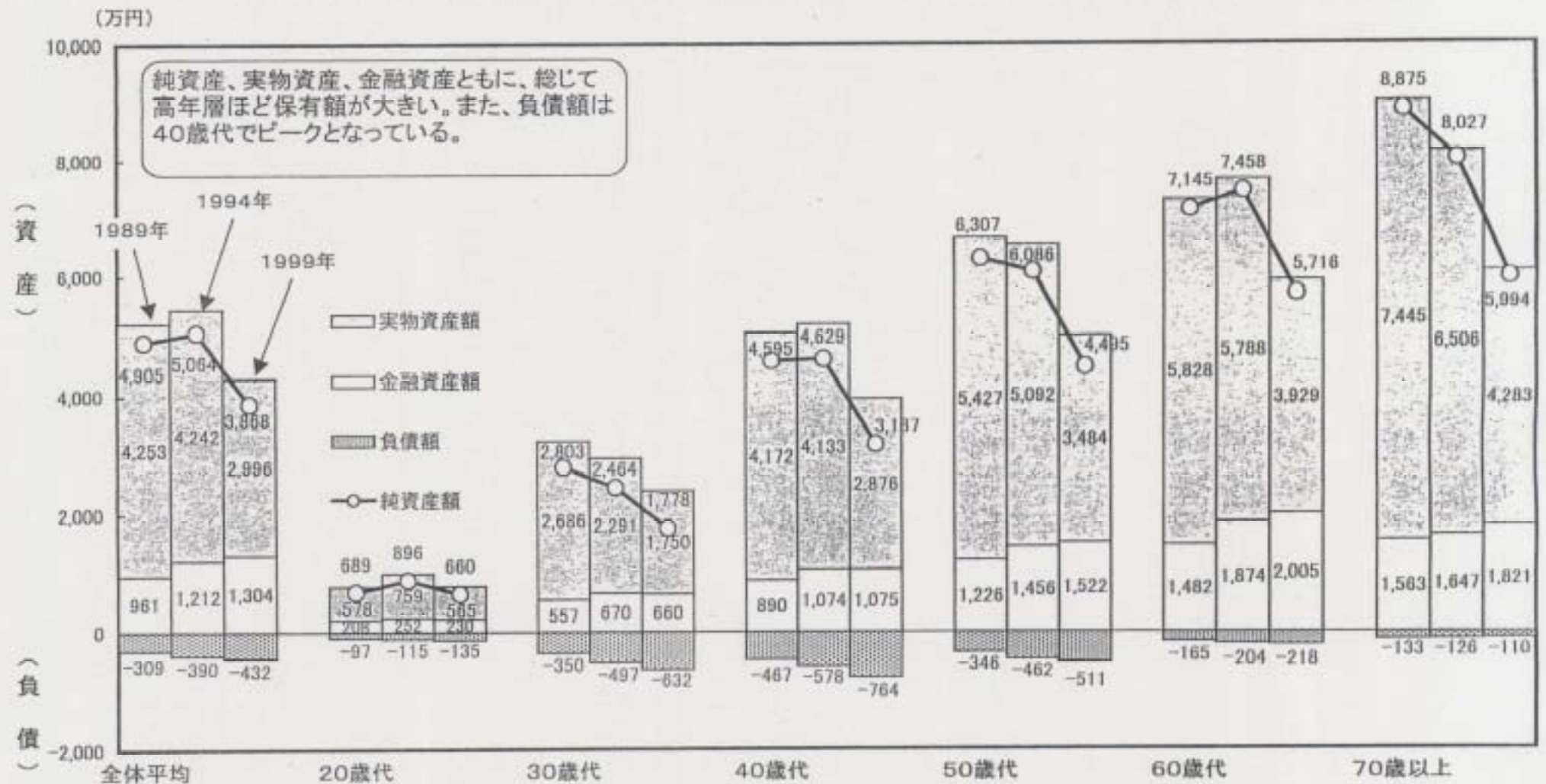
(出所) 税制調査会基礎問題小委員会資料: 総務省「全国消費実態調査」による。

貯蓄非保有世帯の割合



(出所) 金融広報中央委員会「家計の金融資産に関する世論調査」

世帯主の年齢階級別1世帯あたり資産・負債額



(備考) 「実物資産額」…住宅・宅地資産額(現住以外を含む)、耐久消費資産額、およびゴルフ会員権等の資産額を合計したものである。
 「金融資産額」…社内預金や互助会などへの預貯金等の金融機関外の貯蓄を含む。
 「純資産額」…「実物資産額」と「金融資産額」の合計から「負債額」を控除したものである。
 (出所) 総務省「全国消費実態調査報告」(総世帯、全国、全世界)

住宅の現状と住宅政策の課題

< 現 状 >

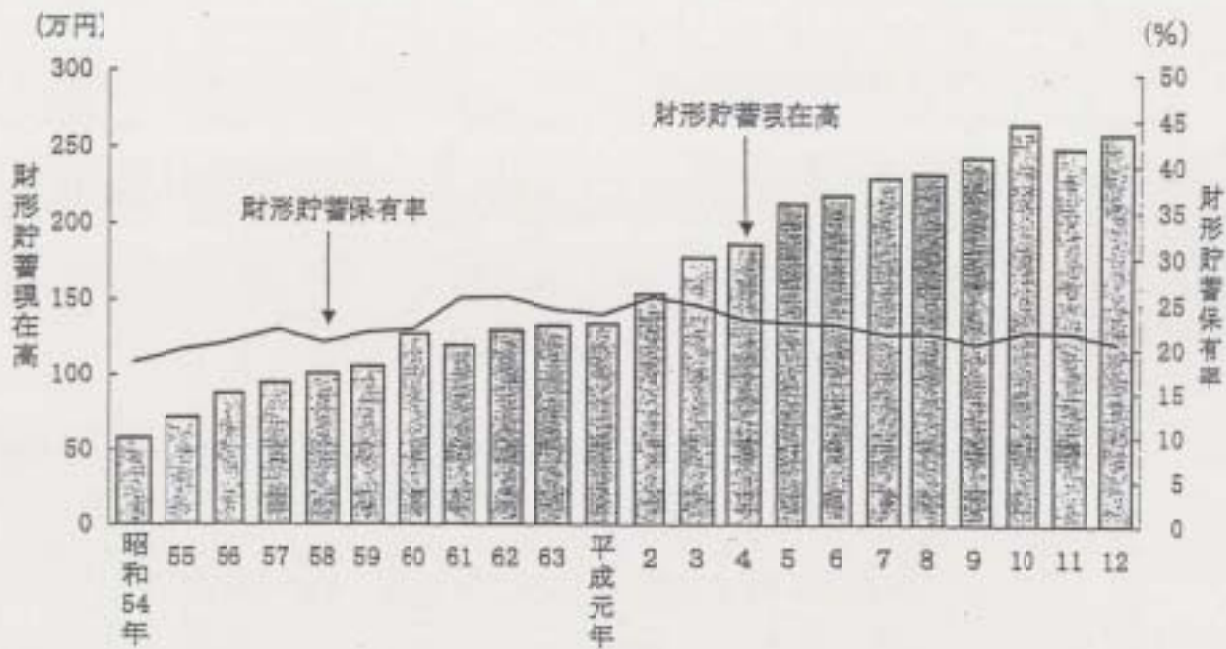
- ・ 量的な充実
住宅総数は5000万戸を超え、一世帯当たりの住宅数や、住宅着工戸数の国際比較においても量的には充実。
- ・ 居住水準の問題
1人当たりの床面積が狭く、世代間の世帯人数と床面積とのミスマッチがあることに加え、バリアフリー化や耐震改修面で国際的にも質的改善が必要。
- ・ 都市部の未整備
大量の密集住宅市街地が依然として未整備であり、都市部における良質な住宅が不足。
- ・ 新規からリフォームへ
供給面では、2014年から世帯数が減少に転じることが見込まれ、従来からの新規住宅の建築・提供中心から、既存住宅のリフォーム、既存住宅の流通を促進させることが業界活性化のカギ。
- ・ 不十分な中古流通
中古流通量は米国の20分の1であるなど、市場が未成熟。リフォーム市場も同様に国際的に低位。



< 課 題 >

- ・ バランスのとれた住宅ストックの整備
質的に不十分な老朽住宅ストックの円滑な更新と世帯形成期の居住水準の向上のための支援。
- ・ 少子高齢化等に対応した市場で流通し得る良質な住宅ストックの整備
新築住宅のバリアフリー化の普及定着と中古住宅のバリアフリー・リフォームの誘導及び省エネルギー・耐震性能を備えた新築住宅の整備促進と中古住宅のリフォームの誘導。
- ・ 都市居住の再生
密集住宅市街地の整備の緊急実施及び職住が近接した良質な住宅の供給。
- ・ ストック循環の仕組みづくり
中古住宅ストックが市場で円滑に流通し、リフォームしやすい住宅市場の環境を整備。

財形貯蓄保有率及び財形貯蓄保有世帯の財形貯蓄現在高の推移（勤労者世帯）



財形貯蓄保有世帯

年次	貯蓄現在高		貸付率	財形貯蓄 保有率
	千円	千円		
昭和54年	5,285	581	11.0	18.0
55	5,972	715	12.0	19.5
56	7,343	875	11.9	20.3
57	7,604	944	12.4	21.7
58	7,514	1,009	13.4	20.3
59	8,424	1,053	12.6	21.4
60	9,205	1,271	13.8	21.7
61	9,466	1,194	12.6	25.2
62	10,642	1,298	12.2	25.3
63	10,868	1,327	12.2	23.9
平成元年	12,991	1,343	10.3	23.4
2	12,471	1,544	12.4	25.4
3	14,451	1,764	12.3	24.5
4	15,044	1,876	12.5	22.5
5	16,325	2,143	13.1	22.4
6	16,167	2,193	13.6	22.4
7	17,410	2,311	13.3	21.4
8	17,575	2,343	13.3	21.1
9	17,415	2,485	14.1	20.4
10	18,280	2,673	14.6	21.8
11	17,078	2,515	14.7	21.7
12	17,862	2,614	14.6	20.6

注:1)各年12月31日現在。

2)財形貯蓄保有率は、勤労者世帯全体の保有率である。

資料出所：総務省「貯蓄動向調査」